



# 成瀬台中学校だより

令和4年度—第9号—

Tel (042)728-6030 HP <http://www.machida-tyo.ed.jp/j-narusedai/>

令和5年1月30日発行

## 学校目標

[自主]個性をまかし 自ら学び続ける人間

[敬愛]自他を尊重し 思いやりのある人間

[克己]困難に打ち克つ 心身ともにたくましい人間



## コスモポリタンたれ

校長 福田 秀樹

地球が太陽を一回りする時間が一年です。その一年の始まりが、冬に置かれているのはなぜか。古来、一年という時間単位は、種蒔きから収穫までの一農耕年であり、「年の始め」が、収穫の終わりから次の種蒔きまでの期間、つまり冬から春にかけてのどこかに刻み込まれるのは、極めて自然のなりゆきなのでしょう。その冬の中でも、大寒（1月20日）から立春（2月4日）までが一年で最も寒さの厳しい時期です。その寒さの中、凜として咲く山茶花（さざんか）の赤い花びらに目を奪われます。白い花びらには、ひっそりとした美しさの中にも品性を感じます。

さて、1月の新聞（朝日新聞）にはいくつかの気になる記事がありました。そのうちの3つについて紹介します。主に、それらは「分断」ということについてのものです。

1つ目。ロシアのウクライナ侵攻後、ロシアのプーチン大統領と会談した国際連合のグテーレス事務総長にかかわる1月6日（金）の記事。（以下引用）

「コスモポリタンであってください」

そのグテーレス氏が、東京・四谷の上智大学で学生たちとの対話の最後にそう語りかけたのは、2017年の暮れだった。自国第一ではなく、世界的な視野をもってほしい。市民としての自覚を持ってほしい。力強い言葉に、会場には高揚感が漂った。（引用終わり）

5年以上前のことですが、この上智大学での対話の場に同席していた、根本かおる国連広報センター所長は、同じ記事の中で「コスモポリタンとは、他人の痛みや喜びをグローバルに分ち合える人だと思います」と述べ、その精神が5年後の今こそ必要だと訴えています。

2つ目。根本さんは1月14日（土）付の関連する記事でも、インタビューに答える形で「他人の痛みや喜び、怒りや悲しみを、グローバルな視点から国や立場を越えて我がことのように分ち合える。そんな人間がコスモポリタンとするならば、コスモポリタンであることは、これからの社会で生き抜くうえで必須の生き方ではないか」と述べています。

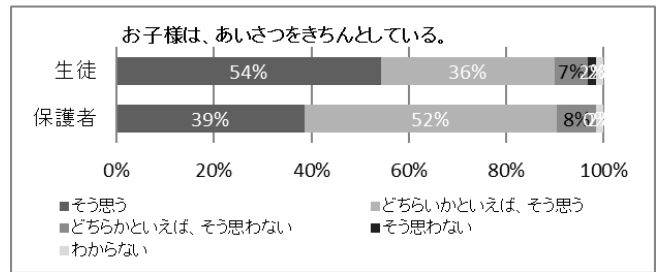
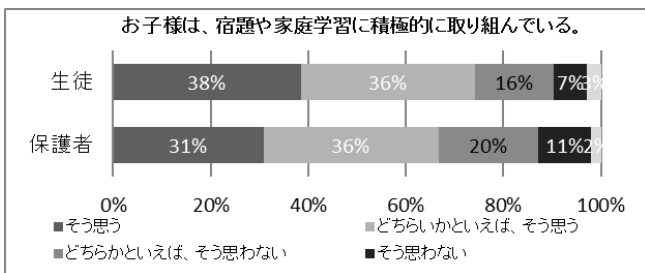
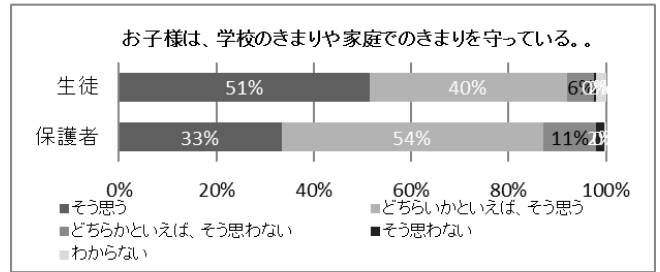
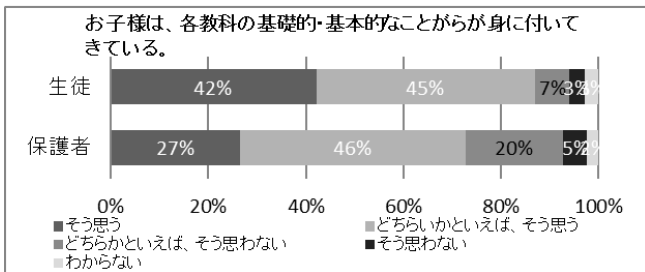
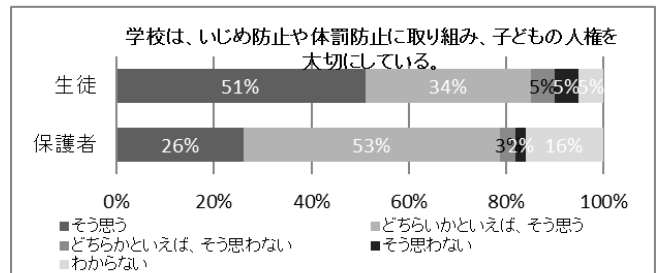
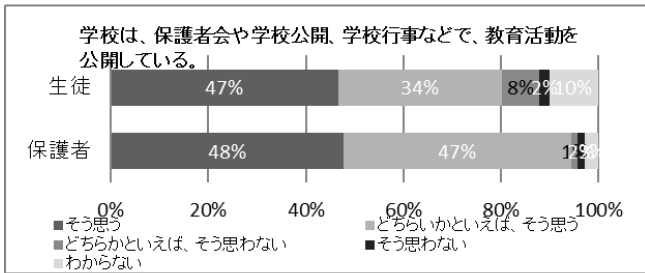
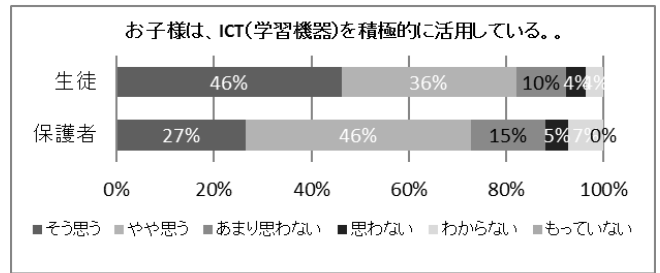
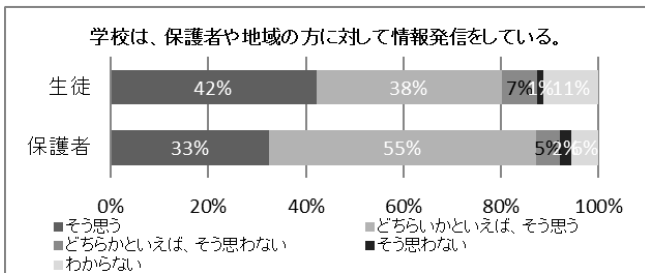
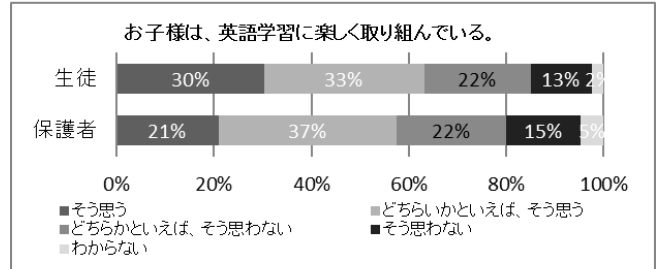
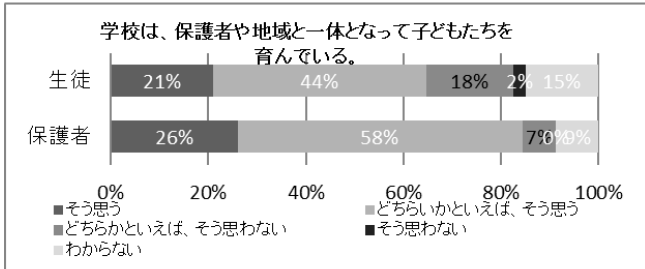
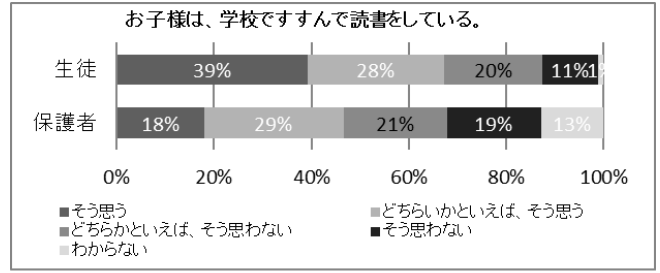
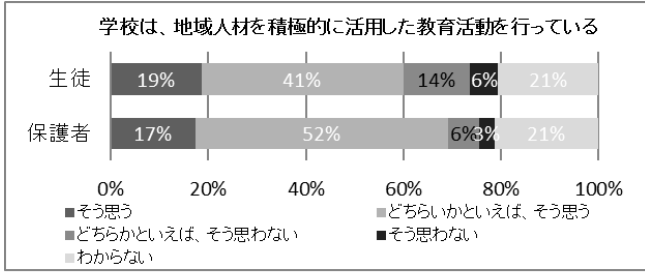
少し難しいかも知れませんが、コスモポリタンとは「コスモポリタニズム」（世界市民主義・世界主義とも呼ばれる）の考え方に賛同する人々を意味します。しかし現実の世界では、ウクライナ侵攻以外にも様々な形で紛争が起こり、差別や「分断」が進んでいます。

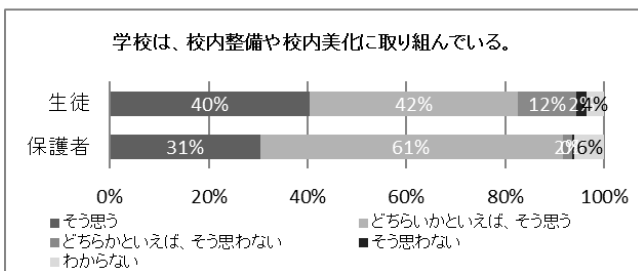
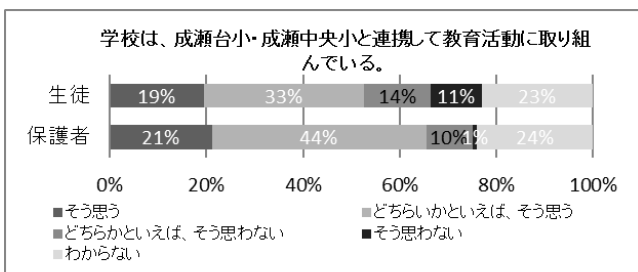
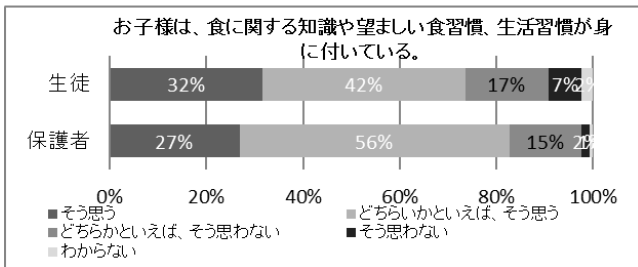
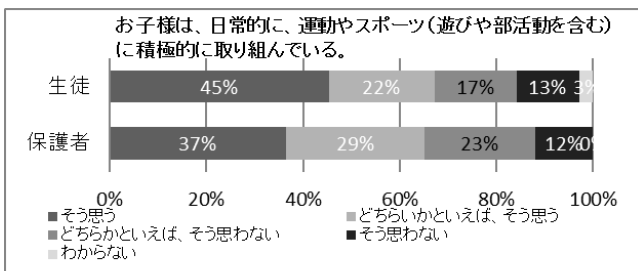
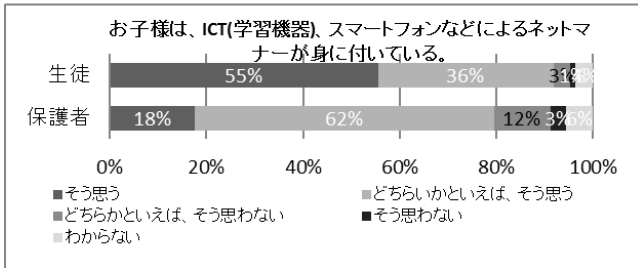
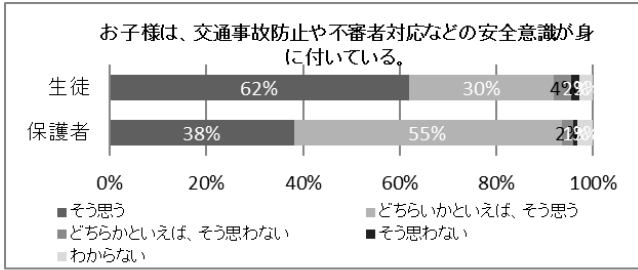
3つ目。1月4日（水）付記事。差別や分断のうちの人種差別について、文化人類学者の竹沢泰子京都大学教授は、「そもそも人間を、皮膚の色などの外見的な特徴で複数の人種に生物学的に分類できるとする考え方は、現在では科学的に否定されている」とし、「能力・気質に関する特性が、世代から世代へと集団単位で継承されるというのは誤った考え方で、社会的に作られたもの」と述べています。では、なぜその誤った考え方が社会的に作られたのか。「旧宗主国や先進国が、植民地主義やグローバル資本主義のもとで長年、労働力や資源を搾取してきたことが一つの要因」とのことであり、歴史的な要因が大きく関係しているということです。自分たちとは違う人たちを排除し、自分たちの支配下に置こうとする考え方でもありますが、自分の身近にもあり得る話です。

その差別をなくす方法について竹沢さんは、「差別をしない・されない世界、全ての人にとってより生きやすい社会のために、一つ一つ差別の芽を摘んでいくという、私たち一人一人の決意が必要」と話しています。コスモポリタニズムとは、全ての間人が、国家や民族といった枠組みの価値観に囚われないという考え方のことですが、差別や分断は世界だけでなく日本にも根深く残っています。このことについて真剣に考え、自分の身の周りのことから行動していくことが、地球空間を「共有」する私たちの責任だといえるのではないのでしょうか。



# 生徒・保護者アンケート結果





回答数 (回答数/配布数)

- 1年 (101/160)
- 2年 (79/144)
- 3年 (79/145)

※ポプラ生徒は、各学年内に含まれています

保護者の方からのご意見など

【学校生活について】

・ChromeBook で、合唱コンクールや発表などの動画配信の機会があれば良いと思います。

・いつもありがとうございます。

クロムブックの提出物が送信できない時がああって困っていることがありました。あと授業を欠席しても困らないよう、プリントやノートが確認できるようになればよいと思います。

・いつもご指導、ご配慮ありがとうございます。文章の読みに時間がかかる子の為に、テストにふりがなをふっていただくなどご配慮頂き、感謝しています。個人でできることなど努力していきますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

・ご時世もあり来校し直接子供の様子を見る機会が減ってしまったのですが毎日充実した学生生活を送っている様子が伝わり安心しています。

・どの科目の先生も授業の為にプリントを準備されていて、教科書一辺倒ではない努力が素晴らしいと感心しています。

・小学校は夏休みの課題の一部をオンラインで提出しました。夏休み中に採点を進められるという事で先生方にもメリットがあります。

・将来的に全員給食になる事を願います。

・他の中学と比べ、成瀬台中学校の生徒はマナーやルールをしっかり守っている方だと感じています。

【行事・情報発信などについて】

・体育祭は天気が悪く、別日に延期になってしまったが、それでも何とか開催しようと言う学校側の気持ちは嬉しいと思った。

・学校のホームページの更新をお願いします。古いまま更新されない状態で管理できてない感が出ています。

・家庭に配布するプリントなどは、少しずつペーパーレス化を進められると良いのではないかと思います。

・ポプラの学習発表会に行き、みんなの劇を観てしっかりみんな取り組んでいて良かったと思いました。ハキハキと発表できて頼もしかったです。先生方にはご指導頂きありがとうございました。

今年は合唱コンクールや体育祭など久しぶりに大きい行事があり、楽しむことができました。ありがとうございました。

☆その他にも、多数のご意見を頂きました。ありがとうございました。以上の結果を参考にして、今後もより良い学校づくりに邁進していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

## 2月のおもな予定

日	曜	内 容	備考
1	水	新入生説明会	
2	木	一斉委員会	SC B時程
3	金	スポーツ交流会（ポプラ） 委員会報告 中央委員会	
4	土		
5	日		
6	月	全校朝礼・安全指導 ①⑥チェンジ	
7	火		SC
8	水		
9	木		SC
10	金	3年③～⑥カット	
11	土	建国記念の日	
12	日		
13	月	成中タイム	B時程
14	火		SC
15	水		
16	木		SC
17	金	避難訓練 学年末考査前部活動停止 (～27日)	
18	土		
19	日		
20	月		
21	火	都一次、前期選抜 3年③～⑥カット	SC
22	水		
23	木	天皇誕生日	
24	金	学年末考査	
25	土		
26	日		
27	月	学年末考査	
28	火	学年末考査	SC

SC:スクールカウンセラー